



3

CHAPTER

Cisco SCA Reporter の使用方法

この章では、Cisco Service Control Application Reporter (SCA Reporter) GUI のナビゲートや設定を含む使用方法を説明します。

- [Reporter のナビゲート : ビュー \(p.3-1\)](#)

Reporter のナビゲート : ビュー

テンプレート ビューでは、テンプレート グループ、レポート テンプレート、およびレポート インスタンスにナビゲートできます。テンプレート ビューで項目を選択すると、そのプロパティがプロパティ ビューに表示されます。

レポートを生成するとレポート ビューが開き、そのレポートのグラフ表示プロパティがプロパティ ビューに表示されます。レポート インスタンス プロパティを表示するには、テンプレート ビューでレポート インスタンスを選択します。必要な場合、ドロップダウン メニュー項目 [**Go to report**] を選択することによって、そのレポートを生成したレポート インスタンスを特定できます。

各レポート ビューの名前は、そのビューを生成したレポート インスタンスの名前になります。たとえば、レポートの名前は「**Global Bandwidth per Service #1**」などです。レポート インスタンスの名前は、テンプレート ビューで変更できます。

デフォルトでは、各レポート ビューにはレポートのグラフが表示されます。[Table] タブをクリックすると、未加工のデータを表示できます。

- [メニュー項目の表示 \(p.3-1\)](#)
- [プロパティの設定 \(p.3-2\)](#)
- [プロパティ ビュー \(p.3-3\)](#)

メニュー項目の表示

GUI には、ビューごとにドロップダウン メニューがあります。これには、そのビューで利用できるすべての操作が表示されます。一部の一般的に使用する処理はアイコンになっているので、簡単に利用できます。

GUI には、ビューごとにポップアップ メニューもあります。ビューのタブを右クリックしてオプションを選択し、[SCA Reporter] ウィンドウのレイアウトを調整してください。使用可能な処理は次のとおりです。

- [Detached] — ビューを切り離し、[SCA Reporter] ウィンドウに移動します。
- [Move] — ビューまたはタブ グループを移動します。
- [Size] — ペインのサイズを変更します。

プロパティの設定

レポートを生成する前に、レポートインスタンス プロパティの値を修正できます。新しい値は保存され、次回そのレポートが生成されたときに適用されます。

グラフ表示プロパティの値を修正することもできます。グラフ表示プロパティについては、値はただちに適用されます。

プロパティのタイプは次のとおりです。

- 値なし — デフォルト値のない必須プロパティは  (not set) として表示されます。
- フリー テキスト — 任意の文字列を入力できます。
- ブール値 — 値によって True と False を切り替えます。
- 日付 —  アイコンをクリックし、[Choose Date and Time] ダイアログボックスを開きます。
- 単一選択 —  アイコンをクリックし、ドロップダウン メニューを開きます。
- 複数選択 —  アイコンをクリックして、複数の値を選択できるダイアログボックスを開きます。

[Multiple Choice] ダイアログボックスのアイコンについて、次の表で説明します。

表 3-1 [Multiple Choice] ダイアログボックスのオプション

アイコン	オプション	説明
	[Select All]	すべての値を選択します。
	[Invert Selection]	オンにしたチェック ボックスをオフにして、オフにしたチェック ボックスをオンにします。
	[Select None]	すべてのボックスをオフにします。
	[Cancel]	保存せずに [Multiple Choice] ダイアログ ボックスを終了します。
	[OK]	保存して [Multiple Choice] ダイアログ ボックスを終了します。



同時に使用できないプロパティがあります。プロパティ [From the last number of hours] および [Starting after date and time] の両方を選択しても、両方とも実装することはできません。



このため、指定時刻に始まる時間枠を定義する場合は、[Starting after date] を選択します。[From the last number of hours] を選択しても、レポートの時間枠は日時の値に従って決まります。

プロパティ ビュー

プロパティ ビューには、ビューで選択したフォーカス項目のプロパティが常に表示されます。次のようないずれかのボタンをクリックすると、プロパティの表示方法を制御できます。

-  (カテゴリ表示) — カテゴリも含めて、または含めずにプロパティを表示します。
-  (詳細プロパティ表示) — すべてのプロパティ、または基本的なプロパティのみを表示します。
-  (デフォルト値に戻す) — 選択したプロパティをデフォルト値にリセットします。
 - プロパティがオプションでない場合は設定解除されます。
 - プロパティが必須であってデフォルト値がある場合は、デフォルト値にリセットされます。
 - プロパティが必須であってデフォルト値がない場合、値は変更されません。

プロパティの値を変更するには、プロパティを選択して値を再設定します（「レポートインスタンスの管理」[p.4-1] および「レポートの処理」[p.5-1] を参照）。次に、そのレポートインスタンスを再実行し、新しい設定で新しいレポートを表示します。

次の例では、「Package Bandwidth per Service」レポートテンプレートを使用しています。

- プロパティ ビューのプロパティ表示の変更方法 (p.3-3)

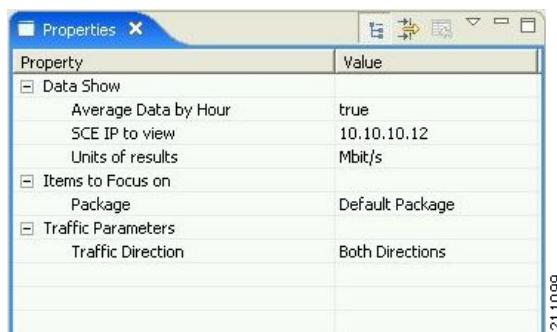
プロパティ ビューのプロパティ表示の変更方法

手順詳細

ステップ1 テンプレート ビューで、レポートテンプレートを選択し、レポートインスタンスを作成します。

プロパティ ビューに、レポートインスタンスのプロパティが表示されます。

図 3-1



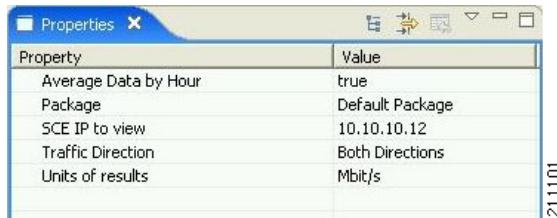
デフォルトでは、プロパティ カテゴリが表示され、詳細プロパティは表示されません。

ステップ2  (カテゴリ表示) をクリックします。

プロパティ カテゴリの表示がオフに切り替わります。

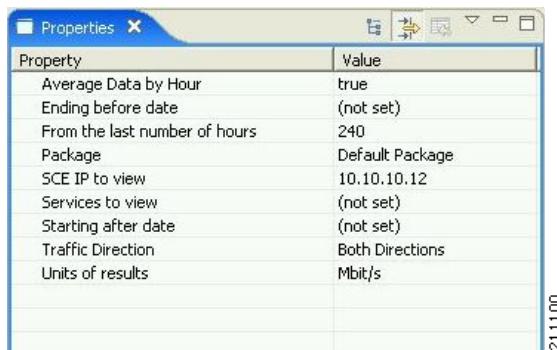
Reporter のナビゲート : ビュー

図 3-2



ステップ3 (詳細プロパティ表示) をクリックします。

図 3-3



ステップ4 (カテゴリ表示) をクリックします。

プロパティ カテゴリの表示がオンに切り替わります。

図 3-4

